

※このチェックシートは本人事前確認用ですので、提出は不要です。  
 ※確認のために適宜印刷して使用してください。提出時に事務所で書類不備のチェックは行いません。

日本学生支援機構 大学院第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除制度」チェックシート

I. 全般および「業績優秀者返還免除申請書」について(あてはまっていれば回答欄に○を付けてください)

質問内容	回答欄
申請用紙の様式は、HPからダウンロードした様式を守っており、一切変更していないことを、確認しました。※注1、注2 万が一、様式変更を行っている場合には、当制度の対象とならないことに同意します。	
様式は、別紙「Q&A」の「2. 申請用紙入力全般」に記載の内容にしたがって印刷しています。	
全ての項目を記入しました。 申請書の記入漏れがあれば、当制度の対象とならないことに同意します。	
様式1の表面にある、「氏名」欄は自筆署名しました。	
提出する業績は、現在在籍している課程で取得したのもののみです。 (修士課程の学生は修士課程で取得したもののみ、博士後期課程の学生は博士後期課程で取得したもののみ)。	
全ての証明書類の1枚目に、「業績を証明する書類 表紙」を添付し、ホットキスやダブルクリップ(バインダークリップ)でまとめました。 また、表紙右上の資料番号は様式1の資料番号と一致しています。	
提出した全申請書類のコピーを取りました。	
一度提出した申請書類に対しての書類の追加、修正および返却は行わないことに同意します。	

※注1 書式変更の例外1→「研究又は教育にかかる補助業績の推薦書」の「1. 補助業務に従事した機関・資格名」記入に際し、罫線内に収まらない長い名称の場合、罫線の延長・増加をすることは可能です。  
 書式変更の例外2→「特に優れた業績による返還免除制度」業績リスト【学位論文その他の研究論文(学外)業績者のみ】の2. 対象業績記入に際し、適宜、表の罫線を変更してもかまいませんが、A4版1枚(両面印刷可)で作成してください。  
 書式変更の例外3→様式1の業績の記入に際し、行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。  
 ※注2 文字のフォント、サイズに指定はありません。

II. 「業績リスト【全員必須】」(あてはまっていれば回答欄に○を付けてください)

質問内容	回答欄
全ての必要な項目を記入しました。 記入漏れがあれば、当制度の対象とならないことに同意します。	

III. 対象業績と必要書類(あてはまっていれば回答欄に○を付けてください)

1 学内の業績として、以下を申請します(1つ以上に○)。

業績の種類	評価項目	回答欄	回答番号
1 学位論文その他の研究論文	① 学内の論文発表会・審査委員会等において高い評価を得た(小野梓記念学術賞、専攻賞等)		(1)
	② 【修士のみ】 修士課程の早期修了が認定されている		(2)
	③ 【博士・一貫制博士のみ】 在学中に博士の学位を取得した、もしくは、年度内に取得予定(早期修了を含む)		(3)
	④ 日本学術振興会の特別研究員(DC1・DC2)に採用された		(4)
5 発明	① 専門分野に関連する領域について、優れた技法、論理、理論等を構築した		(5)
6 授業科目の成績	① 【修士のみ】 修士課程における累積(通算)GPAが3.50以上である		(6)
7 研究又は教育に係る補助業務の実績	① リサーチアシスタントとして各種の研究資金・研究プログラム等へ参画した		(7)
	② ティーチングアシスタントとして学部実験・講義のアドバイス及び教育についての補助業務を積極的に行った		(8)
	③ 関連する分野において、学内での共同研究やプロジェクト研究等に参画し、中心的役割を果たした		(9)

2 学外の業績として、以下を申請します(1つ以上に○)。

業績の種類	評価項目	回答欄	回答番号
1 学位論文その他の研究論文	① 論文が学会等において定期的に刊行される論文誌・学術雑誌等(査読あり)に掲載された(投稿中を含む)		(10)
	② 国内外の会議等で発表(査読あり)を行った、あるいは発表に加えプロシーディングス(査読あり)に掲載された(投稿中を含む)		(11)
	③ 国内外の会議等で発表を行った、あるいは発表に加えプロシーディングスに掲載された(投稿中を含む) ※上記②に該当しないもの(上記②と査読の有無が異なるもの)		(12)
	④ 上記①～③には該当しないが、論文誌等(査読なしを含む)に論文が掲載された(投稿中のもの、発表を伴うものを含む)		(13)
	⑤ 講演・研究発表等を行った(論文掲載を伴わないもの)		(14)
	⑥ 学会・財団等から褒章又は表彰を受けた		(15)
4 著書、データベースその他の著作物	① 公的に刊行された専門誌、図書、新聞、雑誌等に <b>筆頭著者</b> として掲載された		(16)
	② 公的に刊行された専門誌、図書、新聞、雑誌等に <b>共著者</b> として掲載された		(17)
5 発明	① 社会的に認知された発明コンテスト等で上位入賞を果たした		(18)
	② 専門分野に関連する領域について、特許あるいは実用新案・商品登録等を出願した		(19)
7 研究又は教育に係る補助業務の実績	① 産学連携等の学外連携プロジェクトに参画した		(20)

3 (1)、(10)～(13)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
評価を証明する書類(賞状のコピー、評価者による理由書(様式自由)等)と別刷り(リブリント、コピー)は添付されていますか？	

4 (3)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
学位取得証明書または学位論文受理証明書は添付されていますか？	

5 (4)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
「特別研究員審査結果通知書」のコピーは添付されていますか？	

6 (5)、(18)、(19)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
証明する特許願(特許の内容、学生の氏名が確認できる部分のコピー)などは添付されていますか？	

7 (6)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
GPA証明書(原本)は添付されていますか？ ※成績証明書は受付不可です。	

8 (7)、(8)、(9)、(20)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
所定様式「研究又は教育にかかる補助業績の推薦書」は添付されていますか？	
所定様式「研究又は教育にかかる補助業績の推薦書」の「推薦人」欄は「3. 主務者(担当教員等)に含まれている方に直筆で記入していただいていますか？	

9 (8)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
所定様式「研究又は教育にかかる補助業績の推薦書」の「2. 補助業務の具体的な内容および推薦理由」において、「採点を行った」「授業を行った」等の表現はありませんか？(この項目で対象となるのは、あくまで「補助」業務です)	

10 (10)～(15)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
「業績リスト【学位論文その他の研究論文(学外)業績者のみ】」は添付されていますか？ 投稿中である場合は投稿が受理されていることがわかる書類(メール、レターのコピー等)が必要です。 査読有りの場合、査読結果通知書を添付してください。 記入漏れがあれば、当制度の対象とならないことに同意します。	

11 (12)～(15)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
業績を証明する書類(学会プログラム(表紙、目次、該当ページ部分のコピー)、賞状のコピー、評価者による理由書(様式自由)等)、依頼を受けた場合はそれが依頼されての講演・発表等であることがわかる資料(メール、レターのコピー)は添付されていますか？	

12 (16)、(17)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
掲載されたことを証明する著書・新聞・雑誌(表紙、および出版社と出版日などが分かる部分のコピー、発行前の場合は掲載予定年月日と掲載予定内容の証明など)は添付されていますか？	

ここまで

一度提出された書類は、返却いたしません。提出前に、再度不備がないか確認してください。